

平成30年大磯町議会

3月定例会一般質問（2月26日・27日）

質問議員	質問事項（1日目）	答弁者
<p>1 2番 清田 文雄議員 （50分） 9:05～9:55</p>	<p>1. 平成30年度大磯町防災訓練等の計画について 今年も3月11日が近づいてきた。大震災による災害はもちろんのこと、最近では異常気象による災害が多様化し、昨年も台風21号による豪雨のため、大磯町でも前年に引き続き避難所が開設され一時避難する方がいた。今さらながら日頃の備えということの重要性を再認識させられた。 1月23日第3回の大磯町防災ミーティングが開かれ、平成30年度の防災訓練等の計画が示されたが、以下の点について質問する。 （1）平成30年度の住民を対象とした訓練は。 （2）避難行動要支援者制度について。 （3）防災ラジオの進捗について。 （4）学校法人国際学園（星槎国際高校湘南等）との協定について。</p>	<p>町 長</p>
<p>2 9番 二宮加寿子議員 （90分） 10:15～11:45</p>	<p>1. 地域の防災計画について 地域の防災の重要な役割を果たしている消防団の団員数減少や高齢化などで今後の体制や学校での心肺蘇生教育の普及及び突然死ゼロを目指した危機管理体制、また、近年の状況を考えるうちでの内水被害など以下の3点について伺う。 （1）消防団員確保について。 （2）児童、生徒、教職員に対する心肺蘇生とAEDに関する教育の普及について。 （3）内水被害対策について。</p> <p>2. SNSを活用した相談体制について 自殺防止やいじめの相談にSNS（ソーシャルネットワーキングサービス）の活用が進められている。スクールカウンセラーや電話相談窓口も設置されているが、体制整備の上で今後の相談窓口の整備を伺う。</p> <p>3. 県がドローンを使って空撮した地域の画像を活用した大磯町の鳥獣害対策の取り組みについて シカやイノシシなど野生鳥獣による被害は農作物やさまざまな生態系、生活環境など大きな問題となっているが今後の対策は。</p> <p>4. 地域とともにある学校づくりを目指した「コミュニティスクール」の進捗状況は</p> <p>5. 今年度策定される大磯町障がい者福祉計画における新たな追加項目について</p>	<p>町 長 教育長 町 長 教育長 町 長 町 長 教育長 町 長</p>

<p>3 5 番 三澤 龍夫議員 (30 分) 13:00~13:30</p>	<p>1. 環境整備に今以上の配慮を 生活のテンポが遅くなり、信号の時間や歩道の段差、傾斜等が気になる。高齢者も関係してくる問題だと思う。これからの環境整備に今以上の配慮を持ってもらいたいが。</p>	<p>町 長</p>
<p>4 1 番 竹内恵美子議員 (60 分) 13:50~14:50</p>	<p>1. 「明治 150 年」関連施策 明治記念大磯邸園（仮称）について 明治 150 年関連施策の一環として、平成 29 年 11 月に閣議決定され、平成 30 年度に整備着手、平成 30 年 10 月を目途に一部の建物を含む区域の公開を目指すと発表があった。 2 月 1 日には、その他喫緊の課題への対応として、「明治 150 年」関連施策の一環として、平成 30 年 10 月の一部区域の公開を目指し、地方公共団体との連携の下、大磯町に明治記念大磯邸園（仮称）の整備費が 24 億 4 千万円の 29 年度の国土交通省都市局関係の補正予算が成立したが、閣議決定からの進捗状況は。</p> <p>2. 不登校児童生徒への支援策について 不登校児童生徒への支援については、関係者においてさまざまな努力がされ、児童生徒の社会的自立に向けた支援が行われてきたと思う。不登校児童生徒は依然として高水準で推移しており、生徒指導上の喫緊の課題ではないかと思う。 (1) 本町の不登校児童生徒の現状は。 (2) 今後の対策は。 (3) 平成 25 年に寄付された旧横溝千鶴子邸を今後教育研究所とする計画はどのようなか。</p>	<p>町 長 町 長 教育長</p>
<p>5 15 番 柴崎 茂議員 (90 分) 15:10~16:40</p>	<p>1. 中学校給食を中止にしている理由は</p> <p>2. 町内の農地はきちんと農地保全されているか 3カ所について聞く。</p> <p>3. 中崎町長が就任以来、大磯警察署及び歴代の署長と何を話し、どんな相談をしたか</p>	<p>町 長 教育長 町 長 町 長</p>

質問議員	質問事項(2日目)	答弁者
<p>6 13番 渡辺 順子議員 (90分) 9:00~10:30</p>	<p>1. 大磯町自治基本条例町民委員会からの答申は適切に活かされるか</p> <p>平成28年7月21日に町が大磯町自治基本条例町民委員会に諮問した「大磯町自治基本条例が大磯町にふさわしいものであり続けているかどうか等の検討及び見直し」に対する答申書が平成29年3月28日に提出され、町はそれに対する考え方を整理し基本方針をまとめ同年6月1日から施行した。そこで次の点について質問する。</p> <p>(1) 大磯町自治基本条例町民委員会からの答申と町の基本方針の内容について。</p> <p>(2) 町の基本方針の運用状況について。</p> <p>(3) 条例の見直しにあたって町民委員会は駅前駐輪場建設における住民参加と、公共施設の再編における住民参加を事例として条例の問題点を検証したが、次の事業執行にあたり町の基本方針は適切に運用されているか。</p> <p>①「大磯駅周辺安全・安心賑わい創出事業」について。</p> <p>②「大磯町公共施設の再編」について。</p> <p>(4) 上記2事業の大磯町総合計画後期基本計画、大磯町人口ビジョン・総合戦略への位置付けについて。</p>	<p>町長</p>

<p>7</p> <p>11 番 玉虫志保実議員 (70 分) 10:50~12:00</p>	<p>1. 大磯町の食育について</p> <p>平成 21 年度にスタートした大磯町食育推進計画は平成 28 年度まで単独で進められていたが、平成 29 年 3 月からは「生涯健康でこころ豊かにいきいきと暮らせるまち」が基本理念の新たな計画である「けんこうプラン大磯」をスタートした。1. 健やかでこころ豊かな暮らしの実現“生きがいづくり”。2. 健康に暮らせる生活習慣の推進と生活習慣病予防“健康寿命の延伸”。3. いきいきとした健やかな暮らしを支える地域づくり“生活の質の向上”。の 3 点を基本目標に、健康増進計画とスポーツ推進計画と食育推進計画を一体化した新たな計画であるが、「食」関連の事業の多さからも食育は重要な位置を占めていると考えられるため、以下のことについて質問する。</p> <p>(1) 大磯町保健センター 1 階保健指導室の設備はこのままでいいのか。</p> <p>(2) 食育は幼い頃からの積み重ねが大切と考える。子どもの貧困という言葉を目にする中での大磯町立の幼稚園の昼食、小学校の昼食、中学校の昼食のあり方をどのように考えているか。さらに、朝食夕食については、どのように考えているか。</p> <p>(3) 地産地消の推進と食文化の継承の観点からジビエ料理を推進していく気はないか。</p> <p>2. 大磯町新たな観光の核づくりについて</p> <p>「新たな観光の核づくり構想」は町が抱える少子高齢化等のさまざまな問題の解決対策として、どのような役割を果たすのか。また、どれだけの効果があるかと考えるのかについて質問する。</p> <p>(1) 大磯町新たな観光の核づくり推進本部とは何か。</p> <p>(2) 平成 29 年度までに行われた新たな観光の核づくり関連事業の費用対効果は。</p> <p>(3) いつまでこの事業は続くのか。</p> <p>(4) 第 4 の観光地の認定を受けることと新たな観光の核づくり構想に認定されることに違いはあるのか。また、みなとオアシス事業にもいえることだが、認定を受けることがなぜ必要なのか。認定のある、ない、の明確な違いは何か。事業を行う上でのメリットは何か。</p> <p>(5) 国の「明治記念大磯邸園（仮称）」の整備事業と大磯町の「新たな観光の核づくり」事業との関わり方は。</p> <p>(6) この事業が町民にもたらすものは何か。現在と、5 年後、10 年後、20 年後の未来にもたらすメリット、デメリットは。</p>	<p>町 長 教育長</p> <p>町 長</p>
--	--	-------------------------------

<p>8 12番 鈴木 京子議員 (90分) 13:00~14:30</p>	<p>1. 中学校給食休止後の動きは緩慢すぎないか 12月定例会後も改善がされていない大磯町の中学校給食は、生徒、保護者や町民に深い傷を負わせたと考える。特に町の広報1月号の記事中の「生徒たちに精神的な負担をかけた」ことへの対応をどうするのか。加えて、今後の見直しについて具体的な考えを問う。</p> <p>2. 町民の意見の生かし方に問題はないか 大磯港の賑わい交流施設は町民同意を得られない中進んでいると考える。大磯駅周辺の整備についても同様の結果になるのではないかと危惧する。さらに明治記念大磯邸園（仮称）についても町民不在で話が進んでいるのではないかと。多くの町民が納得できる町政運営が求められると考えるが、町長の所見を問う。</p> <p>3. 大磯町職員の職場環境は改善されているか 11月9日付の通知後、改善された点と課題は何か。業務をこなす時間は足りているか。町民サービス提供への影響はどうか。増え続ける業務にどう対応する考えか。中途退職に歯止めはかかるか。アンケート調査結果の今後の生かし方を問う。</p>	<p>町 長 教育長</p> <p>町 長</p> <p>町 長</p>
--	---	--

8名 18問

時間は、事情により変更になる場合がありますのでご了承ください。